

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

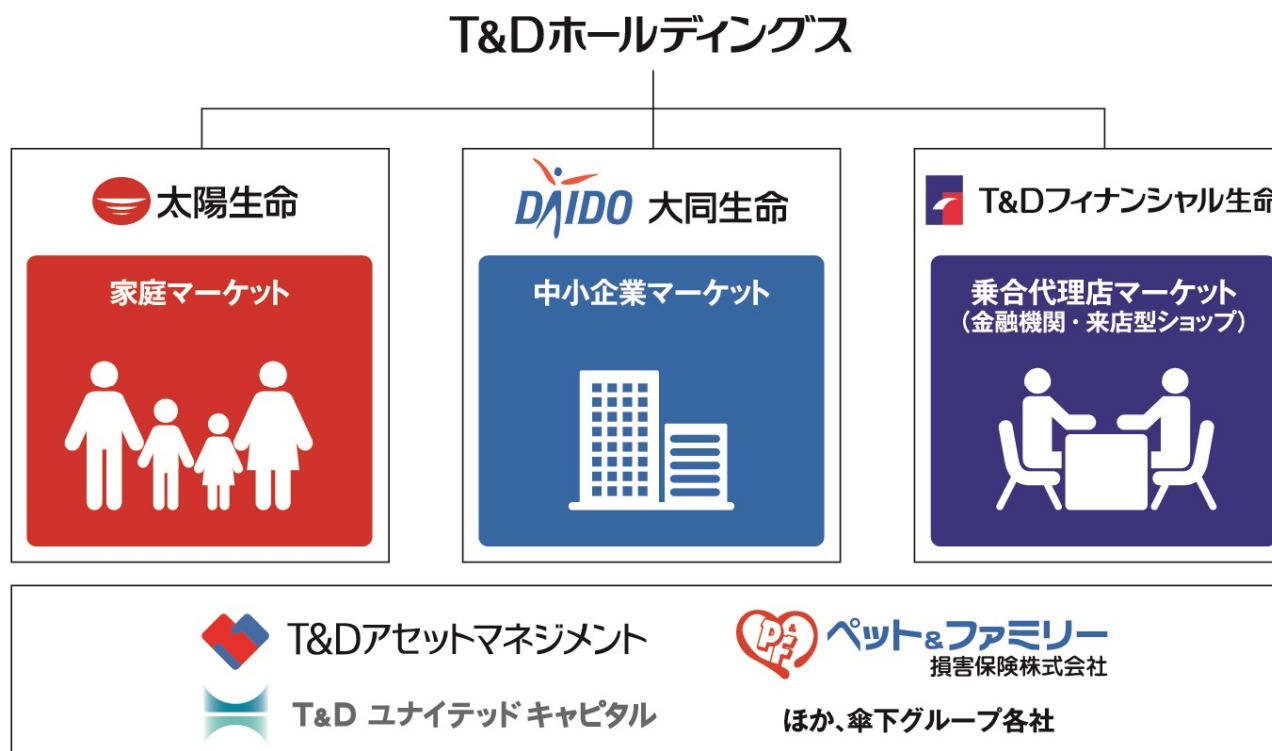
T&D

T&D保険グループ 2022年3月期決算のお知らせ

2022年5月13日

株式会社 T&Dホールディングス

グループストラクチャー



T&D保険グループのT&Dホールディングス傘下には、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命の中核生保3社のほか、資産運用関連事業を担うT&Dアセットマネジメントやペット保険を取扱うペット&ファミリー損害保険、グループの事業ポートフォリオ多様化を主に担うT&Dユナイテッドキャピタル等のグループ会社があります。

<本資料における計数の定義>

連結	: T&Dホールディングス(連結)
3社合算	: 生命保険会社3社(太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の単純合算

2022年3月期決算のポイント	P. 3
1. T&D保険グループ決算の概況	P. 5
2. 国内生命保険事業	P. 8
3. 事業ポートフォリオの多様化	P. 14
4. 通期業績予想・株主還元	P. 16
【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況	P. 17

2022年3月期決算のポイント

1. T&D保険グループ決算の概況

- ・グループ修正利益^{※1}は、太陽生命の新たな再保険取引^{※2}の影響により前期から減少したものの、この影響を除けば国内生命保険事業および米国再保険関連会社(フォーティテュード社)の業績が好調だったことにより前期から大幅に増加。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、米国金利上昇に伴うフォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等により前期から減少。
- ・Group MCEVは、新契約価値の積み上げ等により前期末から増加。

※1 当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

※2 資産運用リスクを削減し、将来収益および資本効率の向上を図ることを目的に実施したもの。

2. 国内生命保険事業

- ・保障ニーズが高まる中、対面・非対面を融合した営業の定着等により、契約業績は堅調。当グループの主要経営指標である新契約価値[※]および新契約年換算保険料とも、前期から増加。
- ・3社合算の基礎利益は、利息及び配当金等収入の増加等により、前期から増加。

※ 当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものの。

3. 事業ポートフォリオの多様化

- ・T&Dユナイテッドキャピタルでは、親会社株主に帰属する当期純利益は減少したものの、フォーティテュード社の業績が好調だったことにより、修正利益は前期から増加。

4. 通期業績予想・株主還元

- ・2023年3月期(予想)のグループ修正利益は1,060億円と、太陽生命の再保険取引の影響がある2022年3月期(392億円)から大幅な増加を見込む。
- ・2022年3月期の1株当たり年間配当金(予定)は56.0円(うち期末配当金28.0円)、前期から10.0円増配予定(通期予想どおり)。2023年3月期の1株当たり年間配当金(予想)は62.0円、前期から6.0円増配予定。

2022年3月期決算のポイント

■ 1. T&D保険グループ決算の概況^{※1}

	2021/3期	2022/3期	前期比
経常収益	23,604 億円	26,143 億円	+10.8 %
経常利益	1,746 億円	570 億円	△ 67.3 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,085 億円	141 億円	△ 86.9 %
グループ修正利益 ^{※2}	779 億円	392 億円	△ 49.6 %

	2021/3末	2022/3末	前期末差
Group MCEV	33,776 億円	35,085 億円	+1,309 億円

■ 2. 国内生命保険事業(3社合算)

	2021/3期	2022/3期	前期差
新契約価値	1,434 億円	1,669 億円	+235 億円
	2021/3期	2022/3期	前期比
新契約年換算保険料	1,103 億円	1,219 億円	+10.5 %
	2021/3末	2022/3末	前期末比
保有契約年換算保険料	15,354 億円	15,431 億円	+0.5 %
	2021/3期	2022/3期	前期比
修正利益 ^{※2}	647 億円	38 億円	△ 94.1 %
	2021/3期	2022/3期	前期比
基礎利益	1,610 億円	1,840 億円	+14.3 %

■ 3. 事業ポートフォリオの多様化(生保3社以外)

	2021/3期	2022/3期
修正利益 ^{※2} (TDAM・P&F・TDUC(連結)合算)	123 億円	185 億円

TDAM : T&Dアセットマネジメント
P & F : ペット&ファミリー損害保険
TDUC : T&Dユナイテッドキャピタル

■ 4. 2023年3月期 通期業績予想・株主還元

	2022/3期 実績	2023/3期 予想
親会社株主に帰属する 当期純利益	141 億円	170 億円
グループ修正利益 ^{※2}	392 億円	1,060 億円

	2022/3期 予定	2023/3期 予想
1株当たり年間配当金	56.0 円	62.0 円
(うち中間配当)	28.0 円	31.0 円

※1 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

※2 修正利益
当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

1. T&D保険グループ決算の概況(連結損益)

(単位:億円)

	2021/3期	2022/3期	前期比	
経常収益	23,604	26,143	+2,539	+10.8%
うち保険料等収入	17,833	17,819	△ 14	△ 0.1%
うち資産運用収益	4,537	4,769	+231	+5.1%
うち利息及び配当金等収入	2,899	3,198	+299	+10.3%
うちその他経常収益	739	3,387	+2,648	+358.0%
うち責任準備金戻入額	-	2,599	+2,599	-
うち持分法による投資利益	494	167	△ 326	△ 66.1%
経常費用	21,858	25,573	+3,715	+17.0%
うち保険金等支払金	13,081	21,741	+8,660	+66.2%
うち再保険料	879	8,207	+7,328	+832.8%
うち責任準備金等繰入額	4,849	19	△ 4,829	△ 99.6%
うち資産運用費用	1,102	823	△ 279	△ 25.3%
経常利益	1,746	570	△ 1,176	△ 67.3%
特別損益	△ 125	△ 98	+27	-
契約者配当準備金繰入額	244	242	△ 1	△ 0.6%
税金等調整前当期純利益	1,376	229	△ 1,146	△ 83.3%
法人税等合計	282	85	△ 197	△ 69.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,085	141	△ 943	△ 86.9%
グループ修正利益	779	392	△ 387	△ 49.6%

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

<主な増減要因>

- ① オルタナティブ資産分配金の増加等による
- ②④⑤ 太陽生命の既契約年金ブロック再保険取引等の影響による
- ③ 前年のフォーティテュード社での米国金利低下による一時的な評価益計上の反動等による
- ⑥ 金融派生商品費用の減少(為替ヘッジコストの低下等)による

【参考】フォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映による影響 (単位:億円)

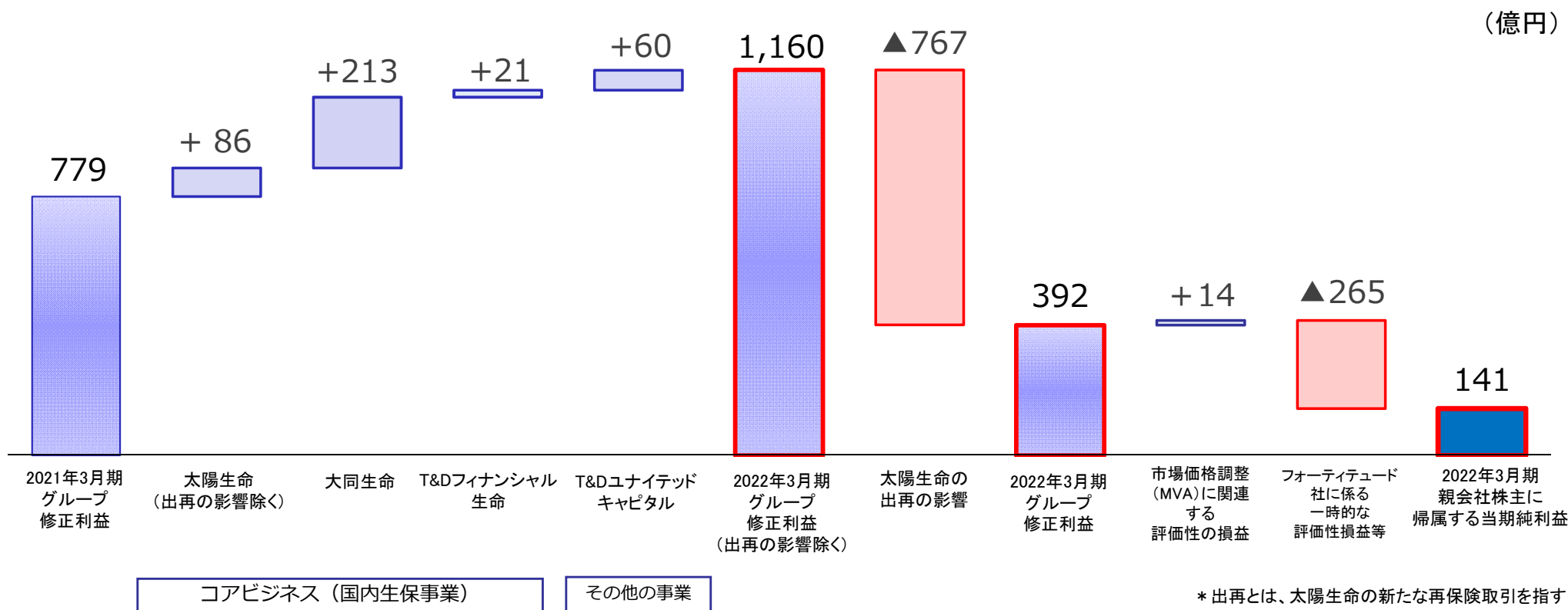
	2021/3期	
	反映前	反映後
経常収益	24,139	23,604
うち持分法による投資利益	1,029	494
経常利益	2,281	1,746
税金等調整前当期純利益	1,911	1,376
法人税等合計	279	282
親会社株主に帰属する当期純利益	1,623	1,085

当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を調整した経営実態を表す指標。

* 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

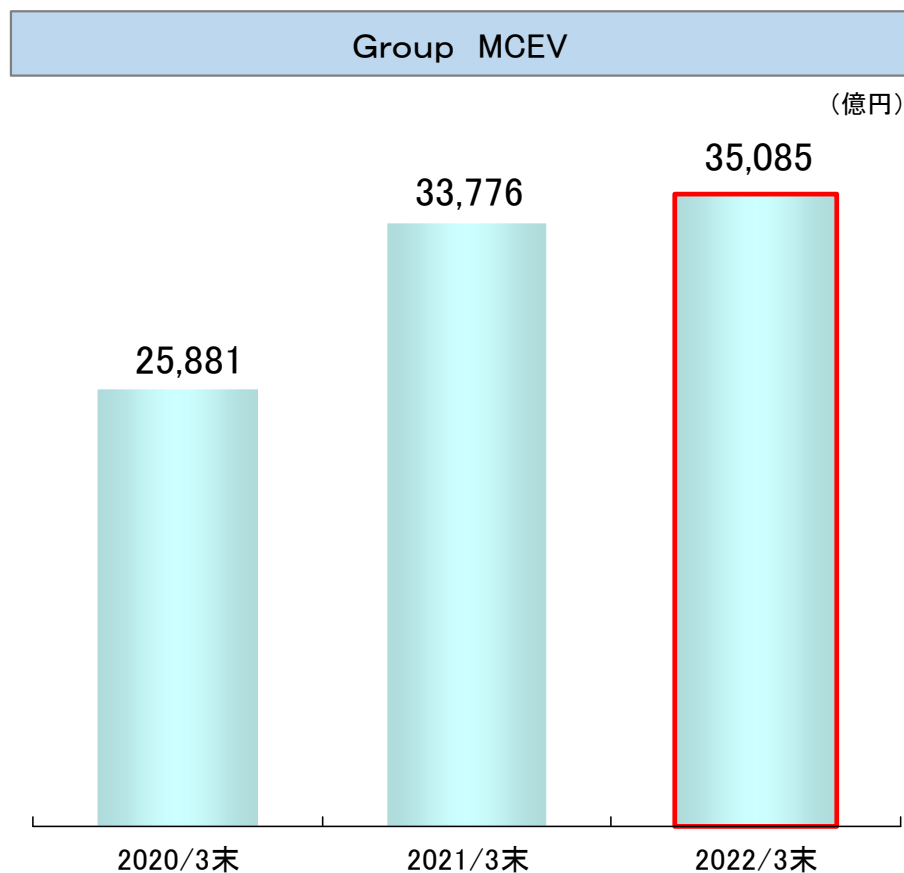
1. T&D保険グループ決算の概況(グループ修正利益)

グループ修正利益の増減内訳と親会社株主に帰属する当期純利益との差異



- グループ修正利益は、太陽生命の新たな再保険取引の影響により前期から減少したものの、この影響を除けば、国内生命保険事業およびフォーティテュード社の業績が好調だったことにより、前期から大幅に増加。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、米国金利上昇に伴うフォーティテュード社の会計上の一時的な評価性損失等により前期から減少。

1. T&D保険グループ決算の概況 (MCEV)



(単位: 億円)

	2022/3末	前期末差
T&D保険グループ全体 (Group MCEV)	35,085	+1,309
生命保険事業のMCEV	34,146	+1,625
うち太陽生命	11,345	+199
うち大同生命	21,481	+892
うちT&Dフィナンシャル生命	1,113	+31
生命保険以外の事業に係る純資産	939	△ 316

- * 生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つ「EV(エンベディッド・バリュー)」は、「貸借対照表の純資産に、価格変動準備金・危険準備金等の内部留保、時価評価されていない資産の含み損益等を加えた純資産価値」と「現時点で保有している契約から将来見込まれる利益の現在価値」を合計したものです。
- * 生命保険以外の事業に係る純資産の前期末差(△316億円)には、フォーティテュード社に係る会計上の一時的な評価性損失等(△265億円)を含んでいます。

2. 国内生命保険事業(新契約・保有契約の状況)

■ 新契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3期	前期差	2022/3期	前期差	2022/3期	前期差	2022/3期	前期差
新契約価値	575	+70	1,056	+163	38	+1	1,669	+235

* 新契約価値は、当期中に販売した新契約(転換契約を含む)の価値を表したものです。

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3期	前期比	2022/3期	前期比	2022/3期	前期比	2022/3期	前期比
新契約年換算保険料	341	+10 (+3.2%)	606	+95 (+18.8%)	271	+8 (+3.4%)	1,219	+115 (+10.5%)
うち第三分野	197	+20 (+11.4%)	155	+15 (+11.1%)	7	+2 (+72.8%)	359	+38 (+12.1%)

* 新契約には、転換による純増加を含んでいます。

■ 保有契約の状況

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3末	前期末比	2022/3末	前期末比	2022/3末	前期末比	2022/3末	前期末比
保有契約年換算保険料	5,800	△ 96 (△ 1.6%)	7,989	+10 (+0.1%)	1,641	+163 (+11.0%)	15,431	+77 (+0.5%)
うち第三分野	1,277	+68 (+5.7%)	1,463	+28 (+2.0%)	34	+4 (+16.2%)	2,775	+101 (+3.8%)

2. 国内生命保険事業(損益関係)

(単位:億円)

	太陽生命			大同生命			T&Dフィナンシャル生命			3社合算		
	2022/3期	前期比		2022/3期	前期比		2022/3期	前期比		2022/3期	前期比	
経常収益	14,398	+6,425	+80.6%	10,326	+98	+1.0%	4,853	+246	+5.4%	29,578	+6,770	+29.7%
うち保険料等収入	5,981	△ 215	△ 3.5%	8,080	△ 0	△ 0.0%	3,671	+190	+5.5%	17,733	△ 25	△ 0.1%
うち資産運用収益	1,743	+90	+5.5%	1,912	+53	+2.9%	1,133	+65	+6.1%	4,789	+209	+4.6%
うち利息及び配当金等収入	1,518	+71	+4.9%	1,628	+223	+15.9%	70	△ 2	△ 3.8%	3,217	+292	+10.0%
うちその他経常収益	6,673	+6,550	-	333	+45	+15.8%	48	△ 9	△ 16.4%	7,055	+6,586	-
うち責任準備金戻入額	6,545	+6,545	-	-	-	-	-	-	-	6,545	+6,545	-
経常費用	15,265	+7,608	+99.4%	9,099	△ 170	△ 1.8%	4,796	+160	+3.5%	29,160	+7,598	+35.2%
うち保険金等支払金	13,816	+8,122	+142.6%	5,167	+51	+1.0%	2,707	+478	+21.5%	21,692	+8,652	+66.4%
うち再保険料	7,049	+7,045	-	37	+3	+8.8%	1,121	+279	+33.1%	8,207	+7,328	+832.8%
うち責任準備金等繰入額	16	△ 447	△ 96.4%	2,115	△ 100	△ 4.5%	1,836	△ 329	△ 15.2%	3,968	△ 877	△ 18.1%
うち資産運用費用	369	△ 99	△ 21.2%	447	△ 216	△ 32.6%	8	+7	+558.4%	825	△ 309	△ 27.2%
経常利益	△ 866	△ 1,182	-	1,227	+268	+28.0%	56	+86	-	418	△ 827	△ 66.4%
特別損益	△ 36	+9	-	△ 52	+18	-	△ 8	△ 0	-	△ 98	+27	-
契約者配当準備金繰入額	125	△ 0	△ 0.0%	117	△ 1	△ 1.2%	△ 0	△ 0	-	242	△ 1	△ 0.6%
税引前当期純利益	△ 1,028	△ 1,173	-	1,058	+288	+37.5%	47	+86	-	77	△ 798	△ 91.2%
法人税等合計	△ 287	△ 328	-	295	+75	+34.1%	15	+26	-	24	△ 227	△ 90.3%
当期純利益	△ 741	△ 844	-	762	+213	+38.9%	31	+59	-	52	△ 570	△ 91.5%
修正利益	△ 741	△ 844	-	762	+213	+38.9%	17	+21	-	38	△ 608	△ 94.1%
基礎利益	551	+24	+4.6%	1,316	+200	+17.9%	△ 26	+5	-	1,840	+230	+14.3%
順ざや	429	+133	+45.2%	542	+232	+74.9%	△ 22	+1	-	948	+367	+63.2%

* T&Dフィナンシャル生命の修正利益は、当期純利益から市場価格調整(MVA)に関連する評価性の損益を調整して算出しています。

2. 国内生命保険事業(健全性指標等)

■ ソルベンシー・マージン比率

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差※
ソルベンシー・マージン比率	734.2%	118.6pt低下	1,203.8%	89.7pt低下	749.5%	77.3pt低下	1,026.3%	68.4pt低下

※ 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

■ 実質純資産

(単位:億円)

	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		T&Dホールディングス連結(参考)	
	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差※
実質純資産	8,520	△ 3,021	15,661	△ 1,196	1,097	△ 831	26,675	△ 4,332

※ 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

■ 有価証券等の差損益(一般勘定)

(単位:億円)

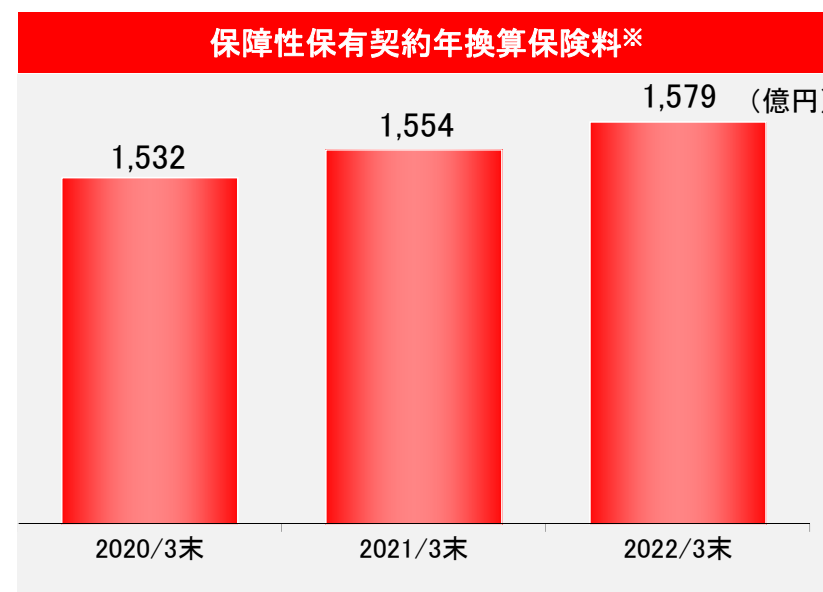
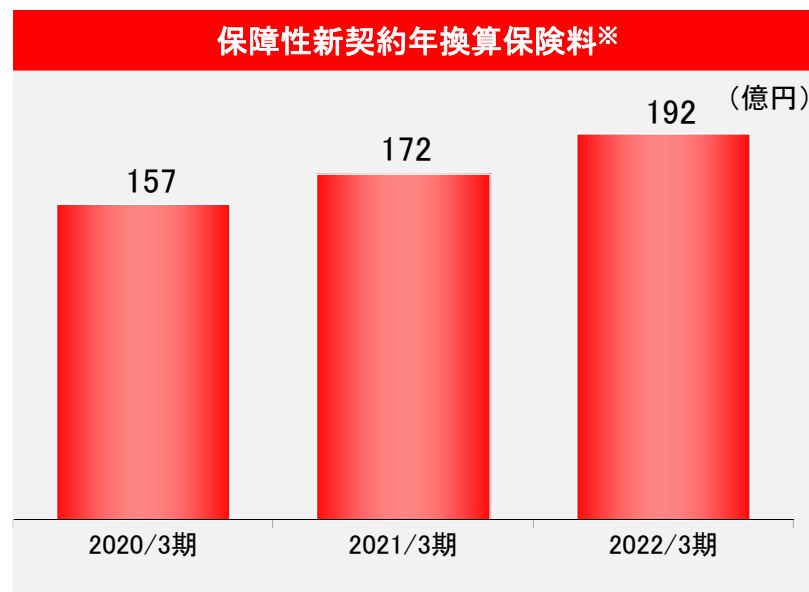
	太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命		3社合算	
	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差	2022/3末	前期末差
有価証券の差損益	4,209	△ 1,881	4,204	△ 1,806	186	△ 888	8,601	△ 4,576
うち公社債	1,757	△ 1,107	1,088	△ 1,429	423	△ 134	3,270	△ 2,672
うち株式	1,106	△ 208	1,668	△ 137	-	-	2,775	△ 345
うち外国証券	1,072	△ 499	1,053	△ 238	△ 0	△ 11	2,125	△ 750
土地等の差損益	633	+8	799	+16	-	-	1,433	+25

* 有価証券の差損益は、有価証券のうち市場価格のない株式等および組合出資金等は除いています。

* 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しています。

【参考】太陽生命の主要ポイントと状況

- 保障性保有契約年換算保険料[※]は、上場以来の最高値を記録。



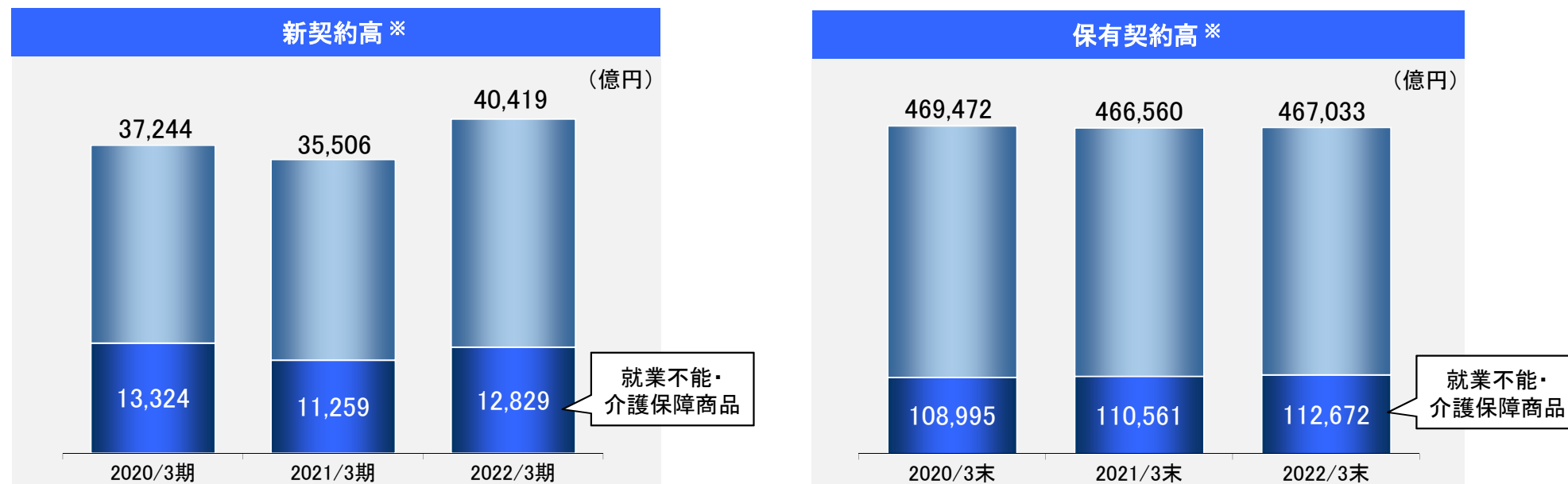
- 保障性新契約年換算保険料[※]は、インフォーマーシャルやインターネット広告等を経由した情報を活用し、対面・非対面を融合させた「ハイブリッド型営業」等のウイズコロナ時代に対応した営業活動の推進、「感染症プラス入院一時金保険」や「ガン・重大疾病予防保険」の好調な販売状況が継続したことにより、前年度から11.5%の増加。
- 保障性保有契約年換算保険料[※]は、入院一時金保険等、第三分野商品の販売が好調であったことにより、前年度末から1.6%増加し、上場以来の最高値を記録。

※ 保障性年換算保険料(太陽生命独自の指標)とは、年換算保険料のうち主に貯蓄系商品を除いた保障部分の合計。
同指標はEVの伸展に大きく寄与するため、太陽生命が契約業績の中で重視する指標。

- ・ 人とデジタルを融合した「ハイブリッド型営業」等の新たな営業スタイルの確立や、お客さまのニーズに対応した保険商品の提供ができるようチャネルの多様化を図るなど、DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組みを推進。
- ・ 2022年3月、お客さまに年金等を安定的にお支払いする財源を確保するとともに、資産運用リスクを削減し、将来の収益および資本効率の向上を図ることを目的として、個人年金保険契約の一部について再保険取引を実施。

【参考】大同生命の主要ポイントと状況

- 新契約高は堅調に推移し、前年度から増加。保有契約高は前年度末から純増。



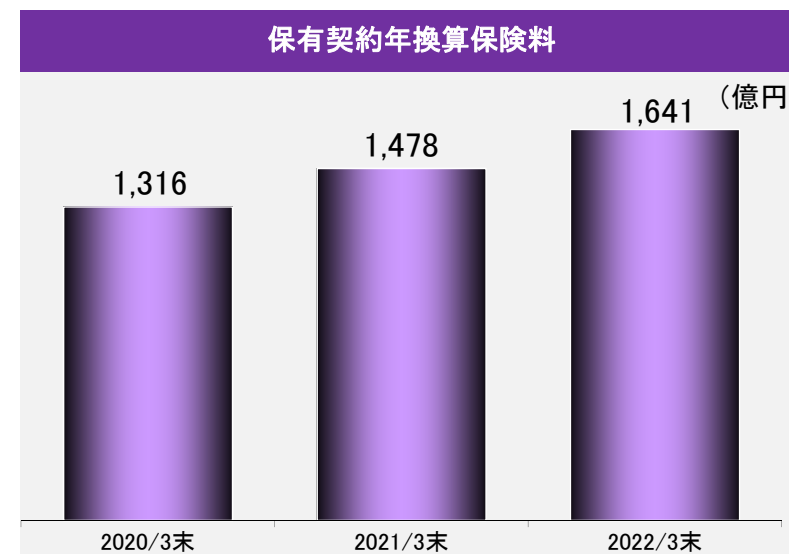
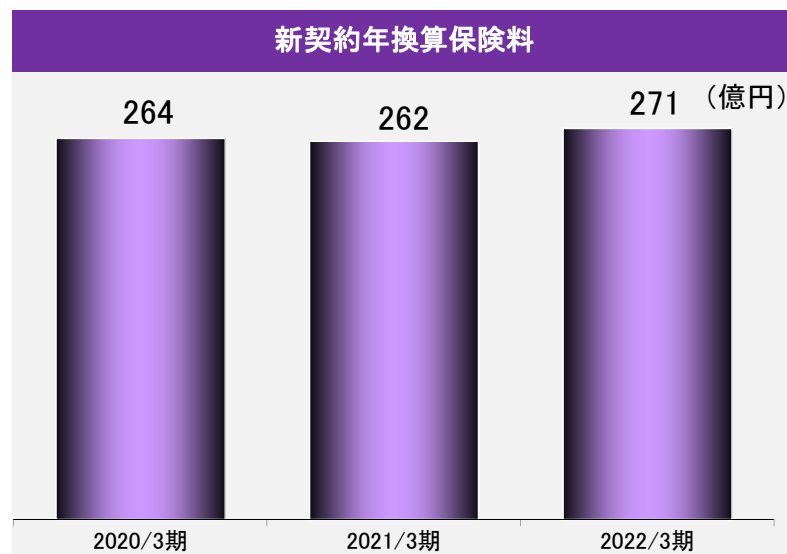
- 対面・非対面を組み合わせた丁寧なコンサルティング営業の実践等により、コロナ禍で高まっているお客さまの保障ニーズに対し的確にお応えしたことで、主力である定期保険、特にオーダーメイド型商品(αシリーズ)の販売が堅調に推移。
- また、「がんステージ限定型Jタイプ」(2020年12月発売)の販売が堅調に推移したこと等により、「就業不能・介護保障商品」の新契約高も前年度から増加。
- 新契約高が堅調に推移したことにより、保有契約高は前年度末から純増。

- ・ Web会議システムを活用して医師の診査を行う「リモート診査」(2021年4月)、非対面で「告知+尿検査」を行う「かんたんセルフ」(2021年6月)を実施。また、「法人契約では業界初」となる、すべての保険加入手続でのリモート化を実現(2021年10月)。
- ・ 「予防」と「そなえ」を一体化した健康増進型保険「会社みんなでKENCO+」を発売(2022年1月)。
- ・ 中小企業とともに社会的課題の解決に取り組んでいくためのWebサービス「どうだい？」の提供を開始(2022年3月)。

※ 当ページ記載の「新契約高」「保有契約高」には、「Jタイプ」の重大疾病保険金額、「Tタイプ」の就業障がい保険金額、「介護リリーフα」等の介護保険金額を含みます。

【参考】T&Dフィナンシャル生命の主要ポイントと状況

- 新契約年換算保険料は堅調に推移。保有契約年換算保険料は前年度末から増加。



- 新契約年換算保険料は271億円、前年度から3.4%増加。対面・非対面を融合したサポート体制の充実により募集代理店での当社商品の認知度がさらに向上したことや、海外金利の上昇による商品の魅力向上等により、一時払終身保険「生涯プレミアムワールド5」や変額保険「ハイブリッドシリーズ」を中心に販売が堅調に推移。
- 保有契約年換算保険料は1,641億円、前年度末から11.0%の増加。

- ・ 人生100年時代の自助努力による資産形成をサポートする「ハイブリッドシリーズ」は、「投資信託」と「生命保険」を融合した変額保険。2021年6月販売開始の「ハイブリッド アセット ライフ」、2021年12月販売開始の「ハイブリッド あんしん ライフ」に加え、2022年4月より「ハイブリッド つみたて ライフ」を販売開始。マーケット環境が不透明な中でも、シリーズ3商品で資産形成層から高齢層まで幅広くカバーし、お客さまの保障ニーズやリスク許容度に応じた設計も可能な商品を提供。
- ・ 2021年2月販売開始の就業不能保険「働くあなたにやさしい保険2」は、三大疾病やケガによる継続的な収入減少に備える「年金コース」と三大疾病による治療費等の一時的な支出増加に備える「一時金コース」の2つのコースから選択できる商品であり、販売は順調に推移。

3. 事業ポートフォリオの多様化(クローズドブック事業等)

■ T&Dユニテッドキャピタル(連結)の状況

(単位: 億円)

	2021/3期	2022/3期	前期差
経常収益	495	0	△ 494
うち持分法による投資利益	493	-	△ 493
経常費用	17	87	+70
うち持分法による投資損失	-	60	+60
経常利益	478	△ 86	△ 564
当期純利益	454	△ 79	△ 533
修正利益	125	186	+60

* 2021年10月1日に公表したフォーティテュード社の組織再編に伴う会計処理の遡及適用反映後の数値。

- 一時的な評価性損益等を除いた修正利益では、同社における運用収支が好調であったこと等により、186億円と前期から増加。当期純利益は、フォーティテュード社の米国金利上昇に伴う一時的な評価性損失等を計上したことにより、マイナスに転じる。
- 2023年3月期第1四半期では、持分法投資利益として、△910億円程度を計上見込み。修正利益への影響額は50億円程度を計上見込み。

3. 事業ポートフォリオの多様化(アセットマネジメント事業・損害保険事業)

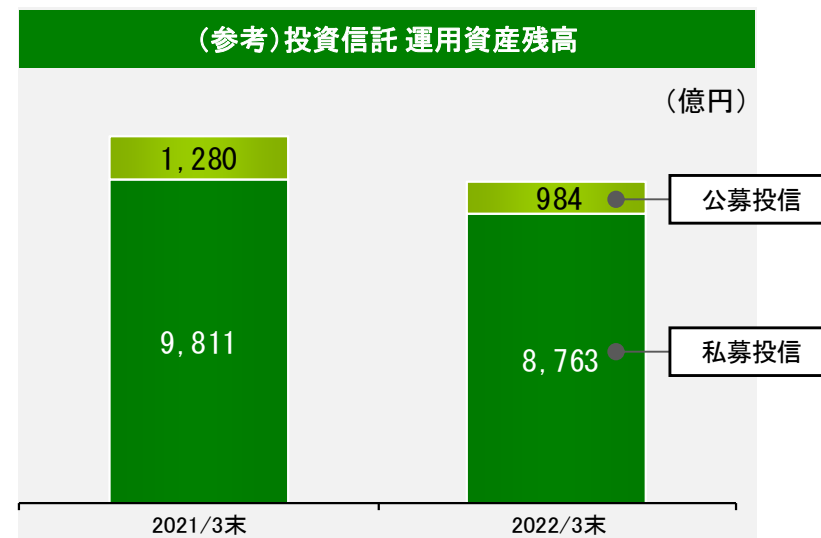
■ T&Dアセットマネジメントの状況

(単位:百万円)

	2022/3期	前期差
営業収益(実質ベース)*	2,855	△ 199
経常利益	56	△ 52
当期純利益	37	△ 20

公募投信、私募投信ともに残高が前期末から減少したことにより営業収益は前期から減少し、当期純利益も前期から減少。

※販売会社や運用委託先への支払いを控除した実質的な営業収入

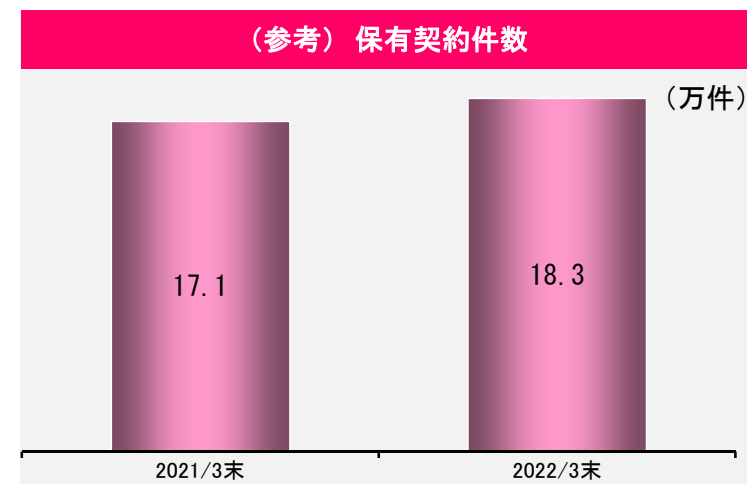


■ ペット&ファミリー損害保険の状況

(単位:百万円)

	2022/3期	前期差
経常収益	8,605	+1,139
経常利益	△ 129	+156
当期純利益	△ 81	+135

当期純利益は、保険金支払いが増加した影響により純損失となったものの、保有契約件数の堅調な増加に伴う収入保険料の増加により、前期から改善。



4. 通期業績予想・株主還元

■ 2023年3月期 通期業績予想(T&Dホールディングス連結)

(単位: 億円)

	2022/3期(実績)	2023/3期(予想)
経常収益	26,143	23,900
経常利益	570	840
親会社株主に帰属する当期純利益	141	170
グループ修正利益	392	1,060

- 2023年3月期(予想)の親会社株主に帰属する当期純利益は、フォーティテュード社の2022年1月～3月決算における、主に米国金利上昇に伴う一時的な評価性損失を反映し、2022年3月期(実績)並みの170億円を予想。
- 2023年3月期(予想)のグループ修正利益は1,060億円と、太陽生命の再保険取引の影響がある2022年3月期(実績)から大幅な増加を見込む。

■ 株主還元

	2021/3期(実績)	2022/3期(予定)	2023/3期(予想)
1株当たり年間配当金	46円	56円	62円
(うち中間)	22円	28円	31円
(うち期末)	24円	28円	31円

- 2022年3月期の1株当たり配当金(予定)は、前期から10.0円増配し56.0円。
2023年3月期の1株当たり配当金(予想)は、6.0円増配の62.0円、8期連続の増配予定。

※ 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

【参考】新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況

■ 新型コロナウイルス感染症関連 保険金等の支払状況（3社合算）

（単位：件、百万円）

	2021/3期		2022/3期	
	件数	金額	件数	金額
死亡保険金	209	1,515	548	4,767
入院給付金	3,731	395	28,128	3,564

* 保険契約に関する取扱条件等については、各社のホームページをご覧ください。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

【お問合せ先】

株式会社T&Dホールディングス	広報課 加藤・山本	TEL 03-3272-6115
太陽生命保険株式会社	広報課 貴志	TEL 03-3272-6406
大同生命保険株式会社	広報課 斎藤	TEL 03-3272-6206
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課 伴	TEL 03-6745-6808